

	· · · · ·	號		+	九	<u> </u>	<u>5</u>		邻 SPA sall			1-	1.	4 4	九	年十二	īl:	<u>大</u>	-	25					n ₽.	ই সা	帥		) =	ţ.		o		円-I ※		月八	西	<b>羊</b> 暦	<b>盗</b>	米	(n	치ㅣ	1	郵種		ħ	( )	= 4	٨.	7
	新総理と後任者兄 王士珍氏養適任者母を守抵薦を父母母・「神総理と後任者兄 王士珍氏養適任者母を守抵薦を父母母・「となる」	王士珍推薦	三十八日解表 言提出	<b>顔總長辭表提出</b>	國		神が可説が是条中日	日人士	野対のいち司司司信。 岩便 左叉耳科(紅 真龍) 一般 おび 一般 おり かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい か	「高唱でいり日中、又一方の三米図の三つの古川英廟図の三早日は一高唱でいり日中、又一方の三米図の三つの古川英廟図の三早日は	山剋次の呈假定でユ準備写順序呈労 會議 5 臨で司引五信をモス   華藤頓『另來社報道モ県皆消息通芒 米國の 日英同盟や存在対の	オ業上支に盟角	b till	是中国是一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的一个人的	は今也吾人の今日は、平人のこと、 好及の完 日本の一日、 一日の一日、 日本の一日、	中日一年、19日本は日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	國民黨首領의 堅明 阿爾	埃及 域 立 戦 宣 言	水	り包含号中 で日中(組育電) E	中音酸でユ 全域可豆がき状化の 形法音探	5 外國人의 治外法權制		政府ル關稅所得 早一層公正す게 使用むき條件으로らなりできるす。そ	MANA 1911年   1912年   1912年	の으로 見で見べ將又經濟的2字見(己刈中國의現伏の外頭)設令實際的援助를 小與為刈み 玉適宜を忠告書取	政府3月七中國으로でゆう。其内政百般の亘でゆ改善言行保障蓄事	法国 计分列线路的磁力引力法 乌马分离事等列员 医呼及式外间 名为语言	37.5川村 刊刊的of是獨与的判別alky fo 三方法ok是第一門戶開放及機會均能中國의 廣土保全已過去列在客斗	オモ列 強っ保障者 当地位の立	15 依つい蒙と叶 打撃 0 로中一経濟的活動と 門戸開放、核	三部定の立め三路製の領土保全	同日識の前途か有望るグロ音指摘のユダラ可其内容中	が、			至		7	四日」氏一関が省当体観 依ず中 合語の参加型各國	<del>K</del>	米村の技能を任する著形を取る人人和不等等を表し、通いは(華峰領電)	オも出	重えられまり	假議題の對社日本政府の方針の全衛決定後の決する	段議題。· 日本方針	16 在電英米南側買り、主要電出第七二プジュリティの関係を16 在電英米南側買り、主要電出第七二プジュリティの関係を14 14 14 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15	。土理學為	計画の第一11155年育議の開倉期々	
	作後が100mの開発に対すり、 全部7終了日の開発を告められ 全部7終了日の開発を持ちられるの立ち	第二人	<b>呈其體的答申案並議決を後委員會成案並議題呈立い討談委員</b> 的	マユ答申案形式及第二第三分科 5、中ル午後一時半の會設量再開	生でユ零年一十分の爲先体態で題の討論量午後31合語:譲らカ	8月正午三過ラグ会の星界本川 竹の就での議論の父女の日本	負會只答印案形式 真如何可喜才等區々宮口呈另委員長の對喜秀	三名をグタニ帝家條件の豆むガン川条の見るのは、	はできる。これはいの各分科会の正常では、これでは、これは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには	冬日重星りの委員會母及名言是作言識型見附議で中多少字句言	<b>河川、金融5 關芝對策及希望案第一般方針、鐵迫、当路、港灣、</b>	世後更可第一分科曾当成案包括0名主套发岸上高區委員。四答	○로早时各種質問○ 义台の對す	(小・小・水・大・)、 議事進行8 闘っゆ	<b>モ明各主査의報告全部の對で質し非經過の財産の報告を削らり欠</b>	1日本分科會の	*三分科主查给 - 查宋·秉畯伯代	明の第一分科で主査・塚總裁、一瞬場での議事言傾聴でのに可劈	山野ではいて、一切は、大川・大川・大川・大川・大川・大川・大川・大川・大川・大川・大川・大川・大川・大	「一十日午前九日早日開台でリケー十日午前九日早日開台でリケー	整督府產業調查委員 平本會議員	见言电子介	金周灵多	火火	金及法定扶養料(四)巻3 恩給又モ退[2]料(三	1)扶助料及使(一)单人從再	脚のロ叉府内의所周部税標準の豆含5円	株別は単立が 関で立其人で 関連を 関連を 関連を 関連を のでは は は のでは のでは のでは のでは のでは ので	作品と所は別ない。	菜所量設でゆ此呈草附外の対不動産の草目	住民のみを府内の所得の無料をやと深代へいとなりの	次日の豆府外の分生でご所の在を所得ら標中で国課権	上任所宣行を禁むて1尺の上任所宣行を移り入りでは、	で成合は付外に見る色大差が無い	141 42	税り豆写今日所受河設定한戸別	展第二颗花談	米京川	行 别说 ·	' 7	りとう	대라	田川直登01井上子斗×食見及交	對小田 政禁止	以 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	所有清明度至为第二下、10 <sup>1</sup> 至	停開す四日日日(大連電)	連	極東	
一般市立上の三十二三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	年四70年至九至	七年の元の表ものである。	年 三七二六 八元 三六	年一九四元 七〇二十八年一九八四十二十八四十二八四十二八四十二八四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	年 页点 干 為 一0	四年170°CP八元。至1	年度別 為貨心 曙空均 哩坐均	一門平 一日	四位名叫收入各表示。四	里下白貨勿輸送頻数  日一里下  正九年度5至で七十個年間コー	りす呼明治四十四年以來之昨大幹線の中口云蓋京義京釜网線の	鮮銭中	何む比例記	州洋では、大戦道泉が直接を輸送し、増加斗比例と如何	一日		於ol今二十一日午前九時長期で 負長677答中,各具體的成第97内。	産業調査委員會の名議決する。 「反言は「ガワラ日又与ころ」。	圣明·戊辰冷贤長 古	ゴリキョコ(下炎) ポマダンの本語なる人が一次産業調査委員介言告終る人	スピュ本日中の期於可識了でユニー	行一人が一会日	本 雪 義	完元丁州宮営切室で上司云々	以近郵更局所又是付金庫の納稅1000000000000000000000000000000000000	2日第一期分3納別七九月三十一九日附呈匆納税告知書言頭付で1年	『川第一期分の對きのとぶ月十二十一期の其半額を得收をころの	では、日本では、一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一		十餘萬圓で「中一人常税額十  六萬餘圓其課稅所得額   千四百  五	子百餘人の山川税・度賦課る戸別税の	「對意次定量見り州」告終でユ同日本會	行うの十七日の	受しのないので、これができたが、一般のでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ		査方法取調委員会にで刈りので変員中の	立度間及其他大體	一世九『十日兩日本』の諮問をプロスツー	宣行す立本月九日三分  上版課標準調査方法の後  及	配上日本の在を外の一二の一次	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	所得は得るの必要を発行をなりい	以上の達む者と賦課る所得といれる。	一二次の日共他の所得らい何を一八年次の日共他の依定の課税を不行し	金金融組合預金当科子等の艺大公金額計值買供附近銀行定期	と 馬種繁香 丹及 馬匹保頼料 三勝川別に「人の政府生早日受」	開合り到注す父会の点別は職人元	米再讲	1 条	
建済され	年 四次 六三九二	ハ年(天党、四三一九八年)三代、八年(天党)二十八三一九八三十八三十八三十八三十八三十八三十八三十八三十八三十八三十八三十八三十八三十八	年正元	年度別   均衡数   哩客収   曜貨収   単名収   曜貨収	成鏡南線	水泥当比較で明通以來三輪送	樹宮の依立次の오史司成鏡南線	是以 别有泉 T 比 o 比 著 人 计 提 明 報 音 控 8 叫 其 勢 力 範 圍 引 立 稱 ]	級。其奥地 可緩受 80号	<b>急泉元線の比較る時に適宜の比)</b> 大正八年度三百二十四フェの此	第川宮時七大正四年度百五十七十四年度 50 7 50 6 四指駆害	均貨客収入の對きの明治	板はスリーが当られ 一日 頻数ル多額の目の時殊を	年並大正元年51 哩平均省さ5 對す6湖南線 21明治	年度の五百六十二引き指大正四年度611百十六5	9日 と指数量がでの貨客収入合物・プログログログログログログログログログログログログログログログログログログログ	こ、大臣、「手度州三七年上帝戦数七大正四年度の二百	度量百으로でゆー哩平均貨되い京元線が在さい一哩平均貨	年 光三二元名 九二	年也高天二、名云	年一位、党上、九五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五、五	年四九六位五八八四00	一年帝的 北世 元	正 五 CD 六 三 二	当时 经三四三元 二十六 市	一度別時貨物 空中均 呼平均 多	一里子一二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	可 京 京 三	天空二至九	年 12元 元 八三 八五 崔	五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	五八九五四二	正英二〇五六三四	が で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	貨型收升	了一八 粉 成	貨客収入金比較で円	与陰ととの傾敗位一日一里平話一、湖南의南線で記での一里人	繁型切りがおというに見る。在 の更可開通後其二つ尚浅を「台	<u>業</u>	後限主変器で라た形が置示の追随のカロの最近のこと	の登録を	上数字書示で呼火帳京義線年 さずが1四 (天*八十三十八十三十八十三十八十三十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十	年天八八元二十五十八五十八十五十八十五十八八元二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	<del></del>	年1671年八四十五十五十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	年 1417(150 九品 4710 以	四年に対している。	「	
	一界大型及民族自火土後小高周中、	旅近我殿の女三朝鮮の在すら此の別等同情の女來でのひいか	と印度の騒動。中世對岸河火災及邦の縁のの会立のココリアの水	は形をあり上き引きに持つ手入中へ楽観音不許多次の気を支我	ア空気の局が印度全般	之可喜可賀 世 村 芸 が 武 外 に が 、 武 外 に の の の の の の の の の の の の の	事件音惹起をテス解測の引立度	最助り導火線・耳呼如何変重大と印度最近4政情が鑑っ五、此	向でいる外電の報道でいる 吾人「兄五中」疾习叛亂の刀の鎮定の	병의	印度의不安の中間でユ如左司が大手に対する。	自度了不多。		城教育公司 保護 三月 英語 一月	川京ユダイン選、7111年下で、1411年の111日の111日の111日の11日の11日の11日の11日の11日の1	編に官中号にはずいると既ずるのがお大きと民間の	四鮮致育協張四依の作政科は編	中	11.60mm,11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.11.	上面如麦兰及二十二十支后,即周达曾翻《田席中创净法	協議呈因での東京の名別智むで太子洋智議の数を陸軍側当準備	伊法寺師團長	の向のダインナー月五日の歸継	『分列出帆で・岩連絡船の12日本   ↑	「無いといこなり」」とします。 多世の第一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一		10世京城州集合 80 更 10 中で、一个本視祭園食二十名及引率者二一个	彩府 L催第二回朝鮮人女教员 第二一旧女教员 Jin 察 一个		問社會设福原俊丸以が川召喚	竹马	了一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	兩江拓敦社長召奠 一个	- 小 闡	トルコリカを守って、日代で一人には、一人に対象を行って、日代で一人に対している。	नि ।।।	獸疫豫防令適用	河南名が	城镇事國在京城外人國司夫包全鮮完教師大自出席者及	後四時半早日六時ヤオ目下開し、藤総督及奉子夫人の昨二十日。京	心督外人招待	小雅でガロ	級い連絡日後	意成績北線の内線の対象が	E 大谷 大	年 老公 明 五 元 次 學		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	新 自货物 EX 经	
	10 10 10 70 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	戸垣子 早使用品で及る。印	<b>對社英國의態度の香温烈で刈名次と、其實・異民</b>	映9 如斯司民族主義 3 咀o	90年無端の英國を苦脳灰目で主義と武器と、	全員氏の依を作考に 境国 (の瓦)所言	当反英運 50一挾撃争受す。英國の1今也此変累問題	紀の御立巡跡・骨城市	7 一覧・運ぶ出対診水が入った。然 ・ は	· 英國可愛劇日題 云明打擊音受犯者已來	のい立立立五年の下	1964年2世紀版王義	各一部自用でかっている。	言言不俟られ中今の開墾	を主意できる。 改善要の日耕地コ 擴張る	의州加量計圖宮51三種々	할.	韓相龍氏	<b>農政施設</b> 。關 ·	意見	本直行	· 计妥良二十日午後七寺二十一、 ) ,	岡委員 「十日午後十一時務」京日本直行	條安員 十午後七時二十分	大爱良二十一日午前九時五 本委員二十一日午前九時五	<b>一日午後七時二</b>	·日本直 (7)	安東縣、元山視察	11 一 有 有	50000000000000000000000000000000000000	一日午後十一時歿一切、新義州祖祭	<b>員二十日午後十一時</b> 發一 京、 <b>衆二</b> 浦祖察	夏二十一日午前九時五	文。與內部、東二部、東萊	十日午後十一片沒一	\$\'`大邱\'` 前項\'`方魚稈	ス 京城滑仕	<b>沙员二十五日</b> 贺京盆沃水	後に 和 さめ 2 3 2 5	<b>新年报</b>	さずが前者 2月号では作り行う 分開催を切解で発	調委員動評	名三出席リ有では	周川  風味質工様  水が櫻井、守屋、	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	社会制出常等主体等体形を依	確認単領上の開発が関	<b>婦人曾役員</b> 日	質量を関すが可引 という 大幅間の対象がであった。 大幅間の対象がは例の対象がであった。	
麝香縣合元阜	別川里山計川以革法り中の党の日日の数の考案日次の	社方去で見り東亚M万度が 英國 9. 豆 亡、堤防 担此水台 今智 七運 邱 8 叉 叶。コミニ	三、早曉間一大事件多逢 右府七司等一時四小康首得喜	い라宮の別け、由是	形と、可及的多量:水臺提到の一次の中の「プーズ」に入る。この「プーズ」氏系の	目導さり女名的「女女士」での名の現場では、一般ない。これの一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、	放走 4 預曲 1 2 円入 三等の 亡 次 三 早 日 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	存在モエヨ対印度의平安省土戦인寺)一面の로見で면	負人多む可民等与主張して、	度当不安と、今日の民	以及、加一番は早が利日の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	過句では、國民当	を 一	[9 名目下各地官公署 [編的 C豆款等34]	(良) 開拓事業 章積	と、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	以用会験勵&必要가有を供給 当週澤州 すいが別	すら低利国と肥料購入	一門十号というでは、対別が組合を設立する	行上方面で活動用をは、適のこの企業をは、	耗損なりで動でよりが破壊に減少を思いませ	因ういないとなっているのでは	日を寄すりりだと交の可農民と肥み使用できます。	豆匠一切 一卦云の耳ー 上延らい肥村 4 使用を	鮮耕 地用水設 扇가充分大略同様のコモ 含エ信	尿外如を自給肥料は原	月曜一旦・新聞い、新聞の日の子級を見いる(	州とミルトナンド人間・一川の一川の一川の一川の一川の一川の一川の一川の一川の一川の一川の一川の一川の一	金肥『使用でユ函鮮』即日本内地と一町步列	一数でいいこれの	毎年三億二つ日フラー	対した命肥の使用で見れる。	43 可謂 M 不可可謂 M 不可謂 M 不可謂 M 不可謂 M 不可可之 スピ	を必め	5 反當の本民僅少で日初地の收益。 本人地	1441 (154 ) 114 (164 ) 114 (164 ) 114 (164 ) 114 (164 ) 114 (164 ) 114 (164 ) 114 (164 ) 114 (164 ) 114 (164 )	は、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	大きず耕心等等 時間の強制的の三路理別の「おんち」	10番が変化が見れる。	2年講 地面漬中多大ではする はいっぱい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいいい はいい	得一个许多面積	·利益 · 得 · 三哲祭師	一緒地面積の豆汁原で	呼音能作文件例手搭代債量無定支引開火料	「土地量一斗浴り引き	31 AL MIT	概念行文のアな実践	P世故圣此明孙帝的的八十萬町步才	円地の山野等を田文里でプローで「得る文学的二十一萬町沙草」「中国町沙草」「中国町沙草」「中国町沙草」「中国・地及千貫地区の作物でア	
170	で、万利が、中で、1987年の一方の一方の一方が、1988年の1987年では、1988年の1987年の198	川山對	ブ보지甘의皇宮十七次o1号 中国事業当利力を五利利会	か三日本▲○世上80二十十八日二十十十八日二十十八日二十十二十八日二十八日二十二十二十二十二十二十二	<b>计刀急바라기々刀と失禮!!</b> 朝鮮及朝鮮人詮爲宮の라た	己ゴ利害關係量無視を면対を経営を中假定でない。コヨ	い設成朝鮮が資本会投のより、プロックのでは要求をよって▲	リリストは閉解統治의費日本人委員記書でス野で	TV CV LYTH 川村丁いたいできた。 いたのできた。 いたのできた。 いたのできた。 いたのできた。 いたのできた。 いたのできた。 いたのできた。 になった。 とった。 になった。 とった。 とった。 とった。 とった。 とった。 とった。 とった。 と	子貨銭を減らの足敗言の皆中でと意味を解釋した	工利益のゼステダッゼス 資本民技術を中川本人の	の貌成の中▲其中の父母	川洋人本立井を川三川・一生建設書の加出一口三早	良等と朝鮮人。言論り上来かりひれる人一言論り上	安見名資路会理失う「權品の対対対する」	一十十十十七十七十二十七十二十十七十二十七十二十七十二十七十二十七十二十七十二十	学を言論中質問り有を決	2、1三人也朝鮮人 正部	、字四五人cl木偶人间次分之一可不過 z → ▲ =	評人の八人ユラ朝鮮・四十八人 12の14人の一人と	情せなので	はけ論な日季リ経大学	○三一般の重要視でい	文 大学 日 文 会 は 三 古 書 で 日 日 間 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		叶含(未完) 低利马貸付宣行刑	特殊は此父是銀行の	オリトリア41戦を構 者の任ういこか吴危険	编9平元系统系至宏之皇 莱马骏蓬上一大障害가冒	不利가太甚至せい分提供州立己現况	己此等企士言篇での非常別川高利当資金旨受でユ	業者或の鮮内の問屋貸並が出日本内地の魚頭運輸	金額が百分之一の三未滿金額が百分之一の三未滿	· 公共企业费制 供給의状况 6 見	三三千萬山谷安でオーリ漁 楽査金シー個年	スキ 東鮮シ大財源 音構成	輸移出すご額の逐年工が呼吸に日本人地	日の一年水原額の五千萬間を配入の水産館の日本を増加する		福州尉 F 作 医川 矿 企	以接到Jimenolinks St.	当實行主促進での外無切可小庭民会誘導を一番	万途マス里此登券完けが立山上下東京金	各地方の豆で中心とは大き	門が変なら可な可能を対象を	「中では、日本のでは	野人の對きの最高	で内地の比さら	マピー技術員の排食が地面積度・1十三百名内外のエリ内情報	
	<b>5</b> 間	は銀行の大きの名: に銀んなった かって かって かって いっこ	100 100 100 111 111	加銀 田田 田田 田田 田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	前部 はこう とう ここ	11 JUH 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		株 名 があった。 は 名 があり、 会は 前期である。	方的事事の東西	可低回言軟中が防いの主政川も	干 タス引上写。中 ・中人六十五線   本根   90七十銭台   抑上で五八十総三	中買進で五硬車□攻勢佐を激烈。本で日早間年50大活動等帯で	川前の一門では、「一門」の一門は、「一門」の「一門」の「一門」の「一門」の「一門」の「一門」の「一門」の「一門」の	以記七十二選門台を建二十支山といる三十銭の一口ノ有で五先	▲第三 - 當級の1 亦不及刃戸限	車当攻勢呈七十四錢々刈返落すり七十六錢々又ち上りの十八寸	台言割止で立七十銭台上点職当	さ中国の可貨が「児び引た十銭」の中国国の得かでい猛烈可買進	3.九、風六十、遠の始で父人・中便事」の當地市場。2.前節は中活氣生で言	地一節八十四。四高價豆入電コニ十銭の一口ノ有で五分階の味	金第二節 常限之不成の中限公人	女旦1十九四五十五錢57初付日	J安宮の豆當地亦昨止足다九丁  九代限の阪地氣配昨止足다八九	四一十一銭9が然一口が出現。	第一節 常限の二十八関十六	一戦を報客の己言地上場而の軟	∞地天侯時 5 初付二十八圓六十一分5 頭重 む中の 4 止む後今朝 10 一	稍勢三六十四歳々刈返晦日の	対日日に司十九丁安意六十一	対しきとて1871  この14年  の17十段日初付でダムト硬币  の17十日  では18年  では18年  の18年  の18年  の18年  の18年  の18年  の18年  の18年  の18年	で後場と前場の営地新高四の三	ガルガー (先高後保) 一	仁川以外	月東さり	C. 14: 000, 13:	元を記る		だら 大明	品	一一四°···································	五	九。五。 大阪東京 大阪	八日現在)	山高五170大	行能力 = 1,000	けぬ この七七、五七〇 単日組織に (十八日現在) 峰	は中央 五型のECTという立 全	が後が (十九日現在)中	商况	
무엇이던지	#100 #100 ···	またこ あるこ するこ	<b>数</b> 排::	H 1100 1450	神経にいること	権に対している。			は 名 年 次列 み次の	期品不改立	第二節  本然の常中先限の	「第一節」従來の依で呼音中点「第五章」	八百万天 七十二 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	夏下戌州場を上社後至次が上場の上昨後場の エ名今日小生で	場所む一般列州公別でに大三科が無でユラニさびメ無法は	南ノ有望以後三三何等鳴目を	カ月二十上前場	仁川ナニ	略(ト)父ハ(マルト)	電話參六九番 長參六七番	か中買店	C.J.米豆取引所仲.j.	た五角節	四節 二十九二六十九	二節 二十九 七十二十九 七十二五十五	多位 二十九 五十五 安位 二十九 五十五	を関 ニー・ル・八十銭	止質 二千水で六十二、利付 ニュッチに五十五		大学 明 李		y.		というな影響	14年の「日本の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の	一日の一方進を六十一銭6分場	· 自己 しゃてこうり これで、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一月月日上段と同じ一八多年一限の二十九銭の見始での三十	「中が大十一銭」。 上では、「「「「「「「」」」。	が大トージナー登り付ける	· 对于 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	の一日が現る日中代   「日本日十四日の日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日本日	第五節(當限の11一十八則八十)ルイン安心大十五銭의止さり	十七八銭間の対左右往來で中一対吴を立大十六銭으로下を呼	人無沸騰さら上七十段を重支、牧道の政勢を場而り軟化です。	<b>呈中八七十勝の呈返勝到以本)の七十億番折下途の六十八</b>	で外合い阪地安道の所聞の早七十銭の始をの七十三浦々ス	級の文復三十億つ有さ立先展示四節、禁服と赤然不成さり	火令の見七十大師の足辺碑での一	
	年代 いってしゅし		10年 11年11日	150	Wrote France	が これと いた こ	<b>いたこれ</b>	200	环名前级 5000000000000000000000000000000000000	十石。賈貝升自の外日司	三 一石 5 六十三圓五十錢으로六	大治と次外如宮 まての総書用の	藤丁多	十五石이減少되哭曰:(仁川)	十六石 31增加 3 五 五 米 七 五 千 六 前 310 1 1 3 0 1 1 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1	阿別化学作大元三〇氏	▲ 無米 四十入一天○表一人胡麻 七斗入六〇叭	▲栗 七斗入三三三三叭	- ▲ 図 四斗人九、〇五五叭 同三十七岁	▲大麥 五卡人一、六二四叭	電略リハ又 介	電話長一	<b> </b>	仁川米豆取引所仲質人	▲小麥 四斗入田五十人四〇〇卯	▲小豆・四半人か五九卯	六半入一、川〇〇以	▲大豆 四半入三公三四二八	▲白米 五斗入八四四叭	▲玄米 四斗人一〇六5 六七叭	現在仁川市内六銀行穀物在庫數仁川穀物協會調査の係で十七日	七川穀物在庫敷	可買總石数 - TA	十月限 一百石	月 吸 取 組	二十日後日		食電話大〇二番、	_	仁川府海岸町	買總石數 十	-一月限 五萬七百石	月 服 和	五節  一十九個九字四篇	三節  二十九四七十二十九四七十二十九四七十二十九四七十二十九四七十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十十二十二十二十二十二十二十二	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	安高(	业的 一十九周九十二 初付 一十九周九十五	一十日後場(電話	

